

第8回 大腸癌プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」議事録

委員長 固武健二郎
場所 名古屋観光ホテル 3F 桂 日時 2014年7月3日 13時～14時
配付資料 大腸癌研究会プロジェクト研究「大腸癌腹膜播種の Grading」第8回資料
参加者 古畑（札幌医），衣笠（久留米），前田，佐藤（藤田），亀岡，小川，中尾（女子医），豊田（埼玉がん），大植，能浦，（大阪成人病），合田，（国際医療），島田（新潟），末山（防衛），小森（愛知がん），端山（帝京），渡邊，石原，風間（東大），小山（弘前），甲田，長嶋（東邦大森），川崎（ベルランド），須藤（山形県中），固武，小澤（栃がん），大田（横浜市医療センター），幸田（帝京ちば），正木（杏林），内藤（北里），富田（兵庫），小山（奈良），近（埼玉医大医療センター），高橋（駒込），小林（医科歯科）

順不同敬称略

議題1 第7回会議議事録案が承認された。

議題2 腹膜播種の prospective study（観察研究）の進捗状況

・現在の登録症例数：41例。このままでは予定150例には大きく届かない状況であり，集積期間を2年間延長し，それに伴い研究プロトコルの改訂を進めることが了承された。

議題3 腹腔洗浄細胞診の prospective study（観察研究）について

・各施設の実施状況を確認。今後もう一度確認を行うこととなった。
・今後の研究結果の発表ならびに論文化のルールについて討議がなされた。主解析結果は事務局が、それ以外の論文については登録症例数が多い施設より順に発表・論文化をすすめていただくことが確認された。

議題4 腹膜播種の retrospective study（症例集積研究）の集計解析結果について

・事務局よりこれまでの論文、学会発表の状況について報告がなされた。
・札幌医科大学古畑先生より、Stage IV Cur C 症例に関する検討結果を発表いただいた。今後学会発表や論文化をすすめていただくことが確認された。
・Cur B 症例における補助化学療法の有用性について、事務局より発表された。
・今後、本データベースを用いて解析結果を学会や論文等に発表してゆく際には、発表内容の重複や論旨の齟齬を避けるために事務局が調整作業を行うこととし、抄録の段階で事務局宛に提出していただくことが確認された。

上記が全会一致で承認された

（文責：小林宏寿）